

新堀川全区間の様子

2021年5月14日 大潮の下げ潮～干潮時間帯

鯉城・堀川と生活を考える会
事務局

■水の色について

ほぼ全区間で白濁が見られた。特に上流の鶉橋～立石橋間の白濁が顕著だった。また、下流の文斎橋～堀川合流点間でも白濁が顕著になり、熱田・伝馬町水処理センターの放流口付近で白濁する様子が見られた。

■においについて

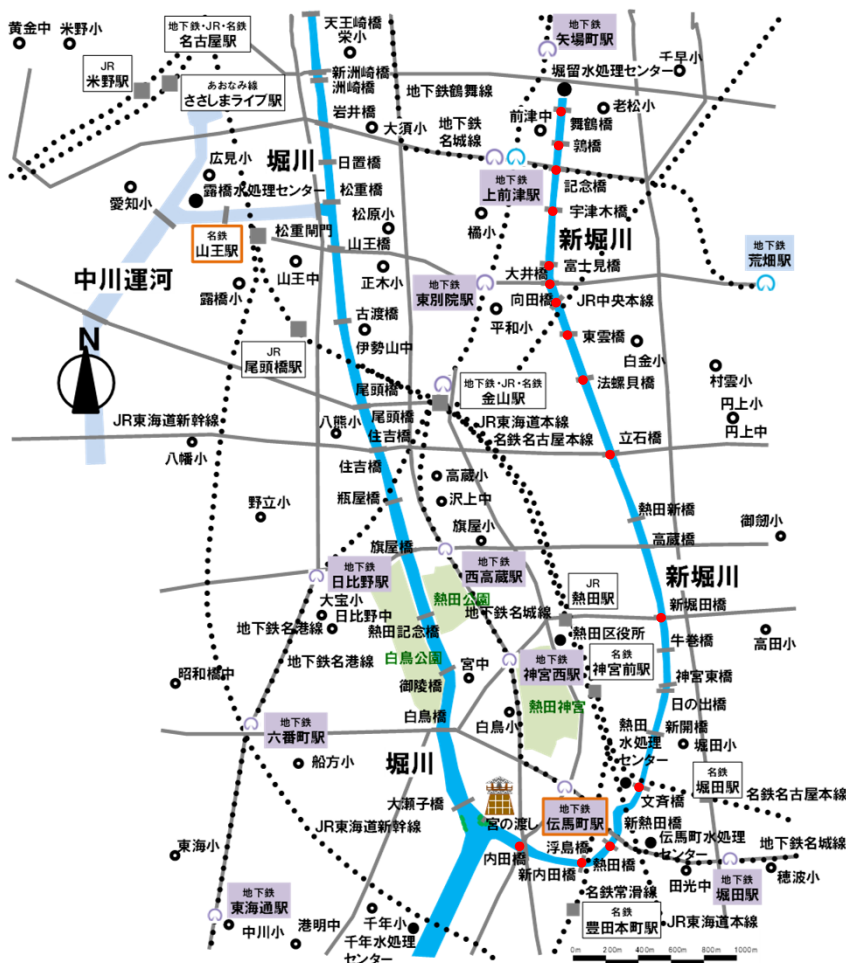
上流の舞鶴橋～大井橋間で腐卵臭が感じられた。特に舞鶴橋～記念橋の腐卵臭が強く、最も強かったのは舞鶴橋であった。また、下流の熱田橋と浮島橋でも腐卵臭が感じられた。なお、文斎橋はどぶ臭(下水処理水臭)であった。

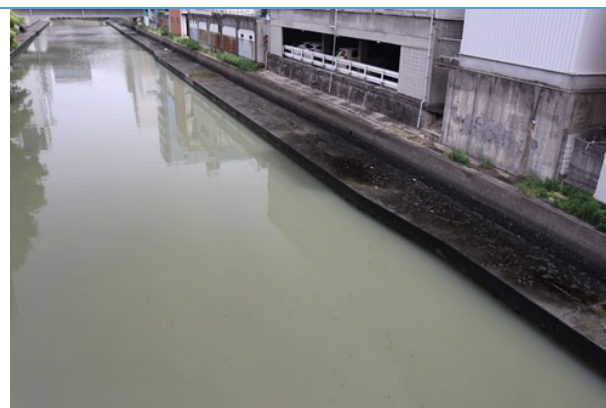
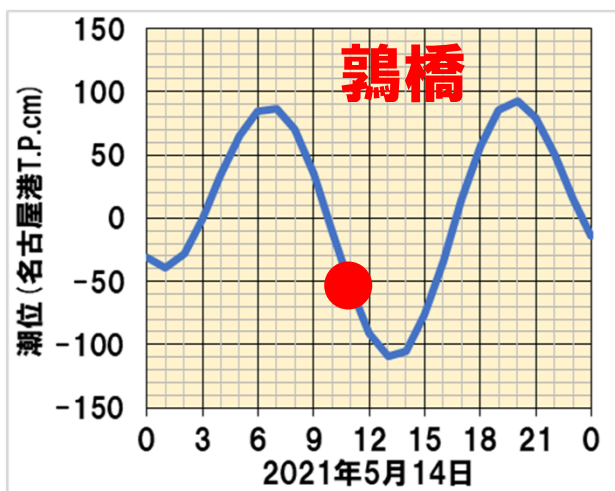
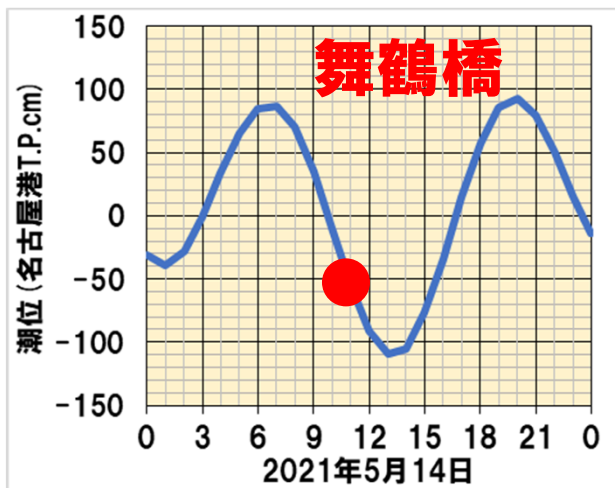
■泡について

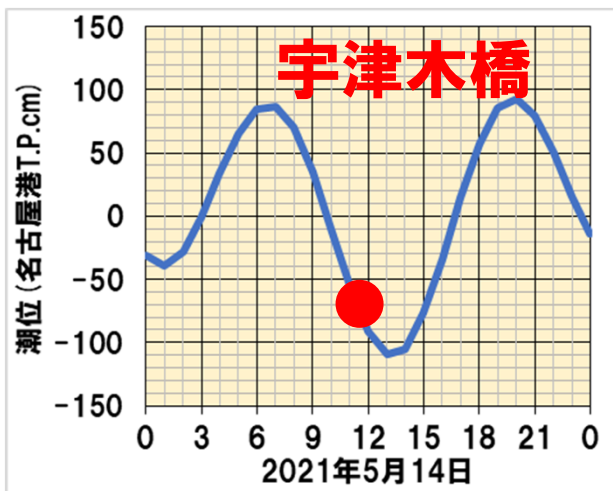
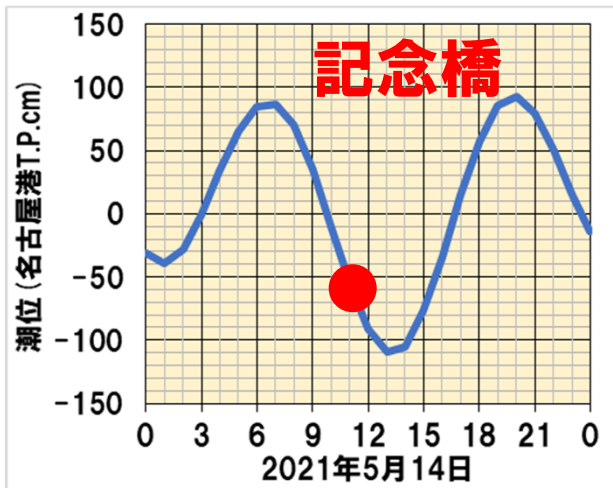
上流の舞鶴橋～富士見橋間と下流の浮島橋と内田橋で川底からの泡が見られた。

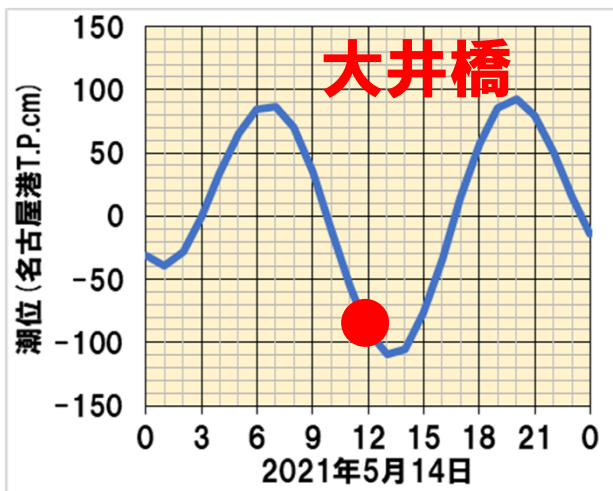
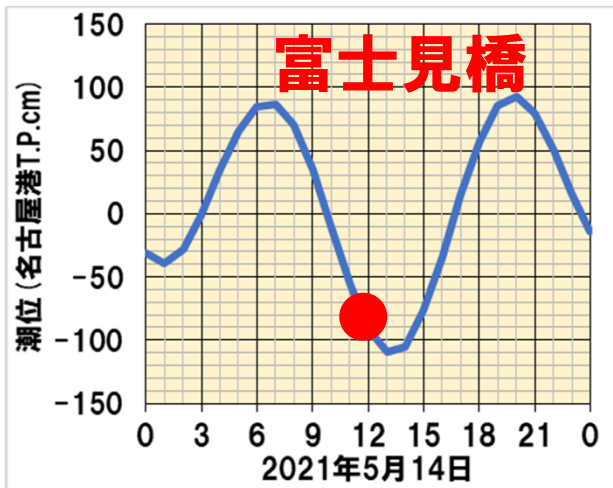
■ヘドロ・スカムについて

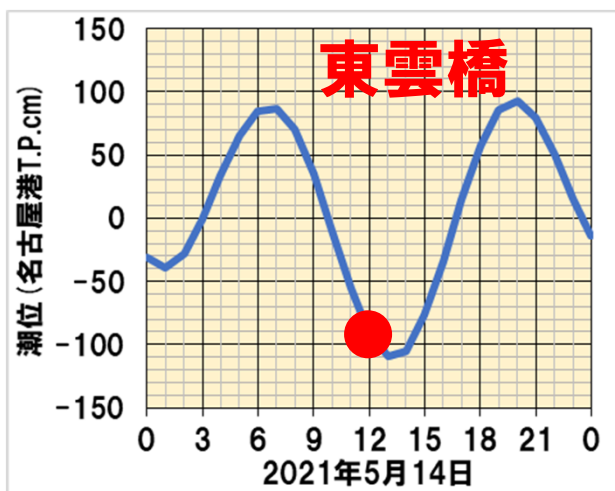
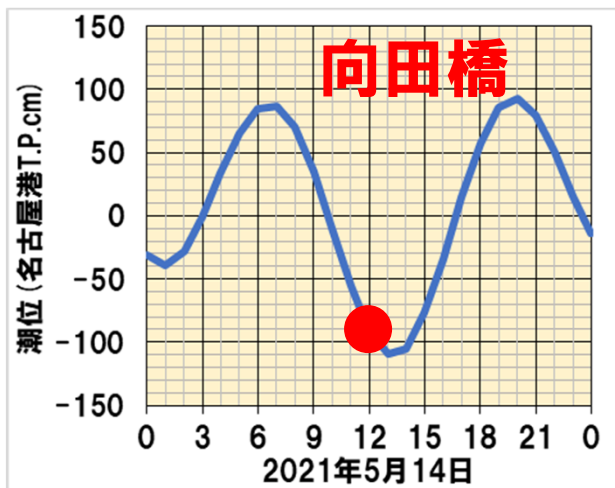
上流は舞鶴橋～法螺貝橋間でヘドロの浮遊を確認した。下流では文斎橋から内田橋(最下流)間でヘドロの浮遊を確認した。特にJR東海道線橋梁から下流で多く見られた。立石橋では、藻類が剥がれてマット状になった浮遊物が見られた。

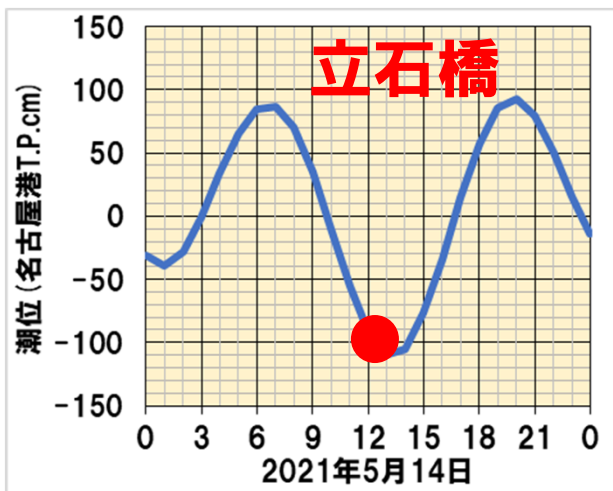
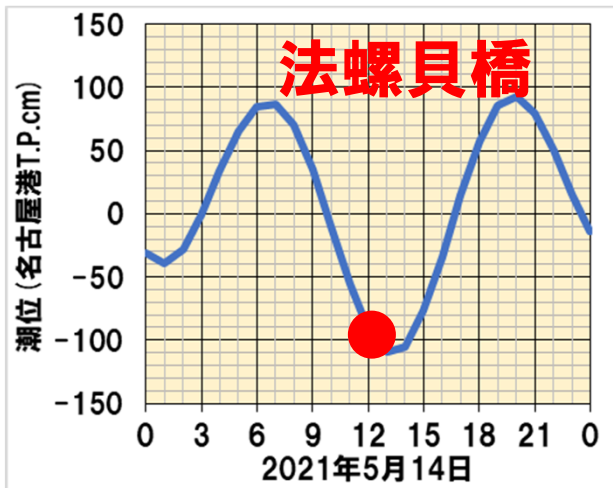


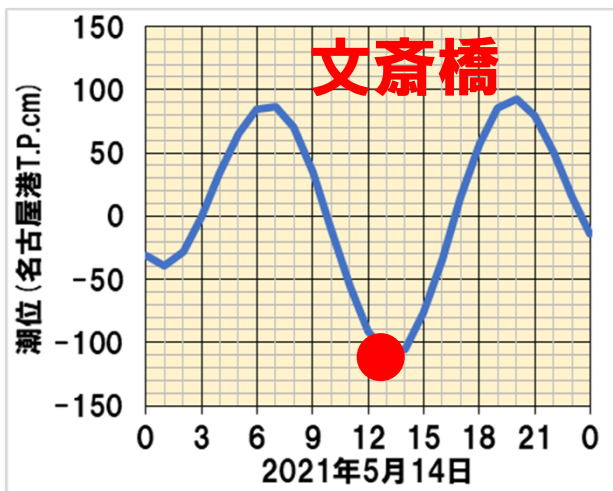
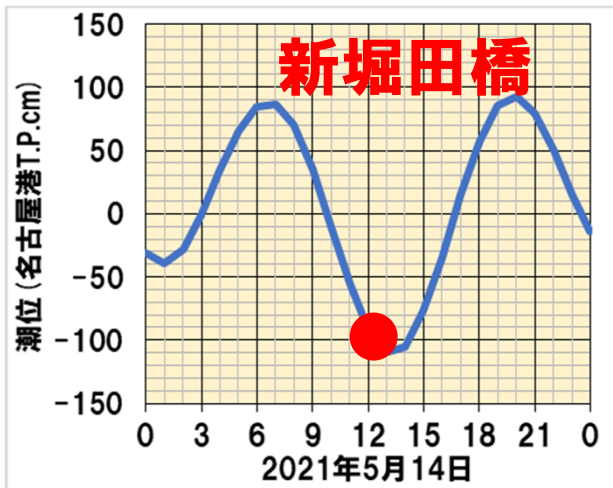


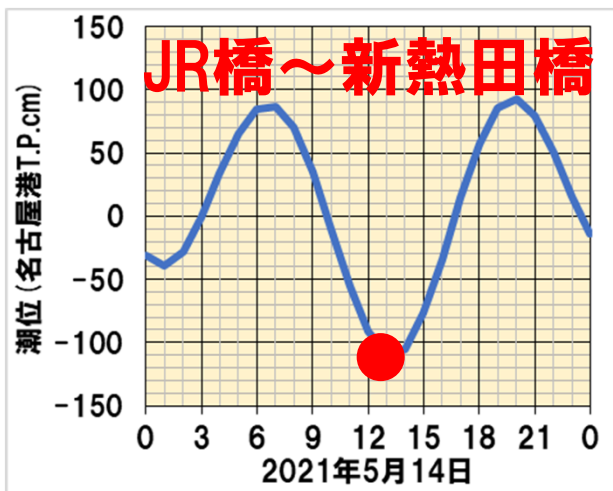
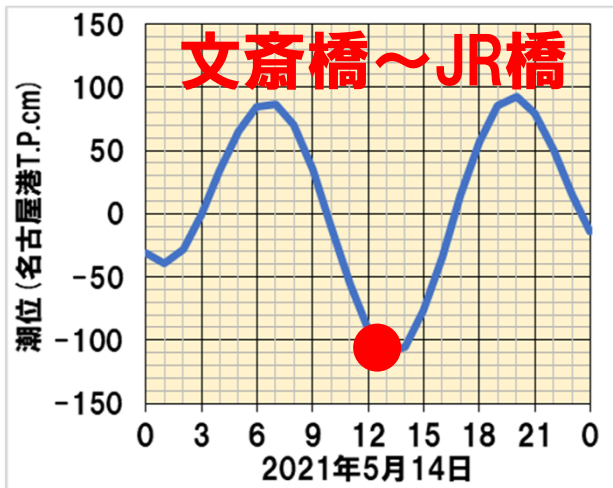


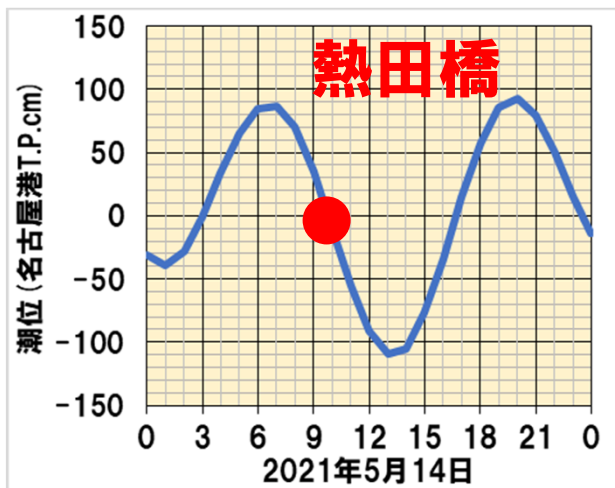






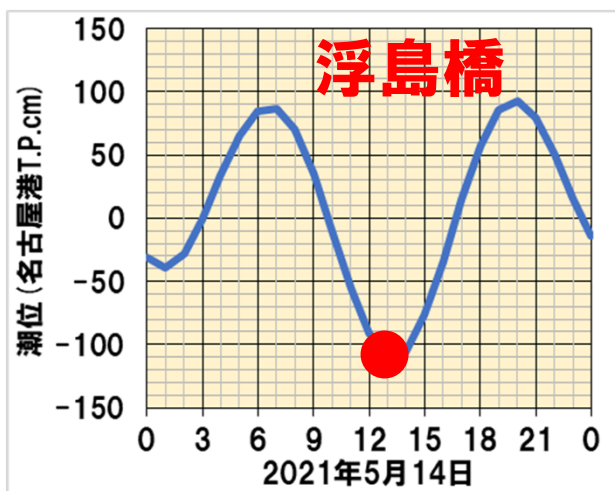






鯉城・堀川と生活を考える会
熱田橋で実施した水質調査の写真を送ります。
水の色が黄色でした。初めて見る色でした。

腐卵臭
ヘドロ浮遊



内田橋



川底から泡
腐卵臭
ヘドロ浮遊



